

## 6月13日 質問と回答

No.	質問	回答	担当課	関連リンク先
1	仮校舎は普通教室を24室整備することのだが、足りるのか。	2025年度に実施した「児童・生徒・学級数推計」では、仮校舎に移転する2027年度の児童数を674人、学級数を21学級と推計しています。仮校舎の普通教室数については、この推計値を基に21教室と予備として3教室、合わせて24教室を整備するため、教室数が不足することはない計画としています。	学務課 施設課	<a href="https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/235.html">https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/235.html</a>
2	仮校舎の普通教室の割り振りは学年ごとになるのか。	学級数等を考慮し、学校で決定します。	南第一小学校	
3	仮校舎期間中、南中学校のプールを使用することのだが、水深は問題ないのか。	小学生と中学生がプールにはいる期間を分け、小学生がプールを使用する期間には、水深を浅くする等、安全対策を行ったうえで授業を行います。	教育総務課	
4	仮校舎に通う際、児童が通学で使用する門はどこか。中学生と同じ門を使用するのか。	小学生は、小学校用の正門とプール門を使用する予定です。中学生はこれまで通り、中学校の正門を使用します。	施設課	
5	西田のエリアに住んでいるが、昇降口までは南中学校の外周をまわって入る必要があるか。	小学生の通学には、小学校の正門とプール門を使用する予定です。南中学校の西側エリアから通学する児童は、プール門から入ることで南中学校の外周を回らずに昇降口まで行くことができます。	施設課	
6	通学費の補助が出なくても路線バスに乗って通学してもいいか。	通学費補助金の認定対象にならない場合でも、路線バス通学は可能です。ただし、路線バスで通学する前に、必ず学校に路線バス利用時の通学経路の届出をしてください。	学務課	<a href="https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/258.html">https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/258.html</a>
7	普段は徒歩で通学するが、雨天時のみバスで通学してもいいか。	可能です。ただし、路線バスで通学する前に、必ず学校に路線バス利用時の通学経路の届出をしてください。なお、通学費補助金と就学援助費通学費は、現金やSuicaまたはPASMOでの都度払いが補助対象外です。	学務課	<a href="https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/258.html">https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/258.html</a>
8	仮校舎のグラウンドで体育の授業や運動会は問題なく行えるのか。	体育の授業は、小学校用グラウンドと、南中学校の駐車場があった場所に整備したサブグラウンドの二か所を使用することで、これまでと同様の授業が行えるようにします。運動会など広いグラウンドが必要となる場合には、南中学校のグラウンドが使用できるよう、南第一小学校と南中学校で調整しています。	施設課	
9	仮校舎の耐震性は問題ないのか。	通常校舎と同じ構造強度（通常建て物の1.25倍の強度）で設計しています。	施設課	
10	仮校舎が建っている間、南中学校の体育祭はどこで行うのか。	2026年度は仮校舎建設工事の仮囲いがあることにより、中学校のグラウンドが5000㎡となるため、南中学校からの要望を受けて、教育委員会が総合体育館を借用しました。2027年度以降は、仮校舎が完成して仮囲いがなくなることでグラウンドが6800㎡になります。市内に7000㎡以下のグラウンドの広さの中学校は複数あり、体育祭も自校敷地で開催していることから、市で代替地を借用する予定はありません。	新たな学校づくり 推進課	
11	南中学校の敷地の中央あたりにある、シンボルツリーでもある桜の木は伐採するのか。	南中学校のシンボルツリーである桜の木は伐採しません。しかし、既存樹木の樹齢や現況を調査し、倒木の危険性が高いと判断した場合は、学校と調整したうえで伐採します。なお、一部仮校舎建設工事に影響する部分については、枝払いを実施します。	施設課	
12	仮校舎の体育館を地域の団体が使用することはできないのか。	仮校舎はあくまで教育目的で一時的に整備するものであり、地域の団体へ開放するためにはセキュリティ区画や体育館へ直接出入りするための外構工事等の追加費用が生じるため、開放はしません。	スポーツ振興課	
13	仮校舎期間中、南第一小学校の開放運営委員会は存続するのか。	運営委員会の存続については、今後の各団体の活動場所や意向に沿って、必要に応じて判断すべきものと考えます。なお、先行事例では、日本町田東小学校の運営委員会は現在休止し、鶴川第四小学校の運営委員会は統合と併に解散、旧南二小の運営委員会は現成瀬小の運営委員会に合体した形となっています。	スポーツ振興課	
14	南第一小学校からつくし野中学校に進学することはできるのか。	南第一小学校を卒業するお子さんと、「つくし野中学校」以外の中学校区にお住まいの方は、学区外通学制度の申請を行うことで、つくし野中学校への進学を希望することができます。ただし、一部の要件に該当する場合（中学校進学時に姉妹がつくし野中学校に在籍している、等）を除いて、学区外から進学できる人数に制限（以下受入枠）を設けています。受入枠は、各校の学校施設の状況や今後の児童・生徒数の推移等を考慮して設定しており、受入枠を超える申請があった場合は、原則公開抽選を行います。なお、中学校入学年度の、住所で定められた指定校が「つくし野中学校」であるお子さんは、つくし野中学校への進学が可能です。	学務課	<a href="https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/245.html">https://kosodate-machida.tokyo.jp/soshiki/5/3/245.html</a>

15	新校舎に通う際、児童が通学で使用する門は現在の門と同じ位置か。	校庭南側の正門は、現在の位置から西側（信号側）に数十m移動し、横断歩道からまっすぐ入れる位置に設置します。また、敷地の北側（校舎側）にも門を設けます。児童は移動した門から登校する予定です。	施設課	
16	新校舎はホワイトボードとのことだが、なぜ電子黒板ではなく、ホワイトボードなのか。	プロジェクターなどのICTを積極的に活用することを前提に、投影面と板書面を兼用できるホワイトボードを整備します。	指導課	
17	新校舎に卒業生や地域住民が入ることはできないのか。	地域開放区画となる、体育館、校庭や特別教室等については、放課後や土日等の教育活動時間外に地域に開放することとなっているため、入ることが可能です。	生涯学習総務課 スポーツ振興課	
18	新校舎のラーニングセンターのイメージ図にある横断歩道は何か。	「まち」のように、「みち」でつながる場所をコンセプトとしています。ラーニングセンター（建物）やラーニングルーム（建物）、展示・小上がりコーナー（ひろば）を廊下（みち）でつなぐイメージです。みちのサイン表現として、横断歩道のデザインを使用しています。	施設課	
19	新校舎の工事車両は児童の登下校の時間に通行するののか。	原則として、児童の登下校の時間帯（7:30～8:30）は、工事関係車両の通行を禁止します。また、工事搬入口への交通誘導員の配置などにより、通行する方の安全を確保できるようにします。	施設課	
20	新校舎の工事は予定通りに進むのか。	現段階では、工事は予定通り実施できると考えています。	施設課	
21	市内の別の特別支援学級から、南第一小学校に新設される特別支援学級に転校することはできるのか。	転校することが可能です。 特別支援学級の開設前年度（新校舎使用開始の前年度）に、南第一小学校区にお住いの方で現在近隣校の特別支援学級に在籍している方に対して、南第一小学校へ転校されるかの希望調査をいたしますので、ご希望の有無をご回答ください。	教育センター	